

令和 8 年 10 月 1 日

関係機関の長 殿

京都大学フィールド科学教育研究センター長

舘野 隆之輔

(公印省略)

令和 8 年度公開臨海実習（春期）について

標記のことについて、下記の要領により実施しますので、お知らせいたします。

つきましては、貴機関の学生で受講希望者がありましたら、令和 9 年 1 月 15 日（金）までに、郵送またはオンラインにてお申し込みください。

郵送の場合は、期日までに必要提出書類を送付願います。オンラインの場合は、瀬戸臨海実験所ウェブページ内 (<https://www.seto.kyoto-u.ac.jp/smb1/education/>)、公開実習の中から希望する実習名を選択し、「受講のご案内」の先にある【参加申込フォーム】からお申し込み願います。

なお、受講の可否については、2 月上旬頃までに、受講生・指導教員に電子メールで連絡し、その後教務担当宛に許可書を郵送いたします。受講希望者が定員を超えた場合の選択は、当方に一任願います。

記

○実習内容及び期間：

①海産無脊椎動物分子系統学実習 令和 9 年 2 月 21 日（日）～2 月 28 日（日）

②沿岸域生態系多様性実習 令和 9 年 3 月 8 日（月）～3 月 13 日（土）

③藻類と海浜植物の系統と進化 令和 9 年 3 月 24 日（水）～3 月 28 日（日）

○単位について：2 単位相当（単位の認定はできませんが、代わりに授業の受講証を発行します）

○特別聴講学生について：

②沿岸域生態系多様性実習を京都大学理学部の特別聴講学生として受講することができます。

その場合には、全学共通科目「森里海連環学実習Ⅳ（沿岸域生態系に与える陸・川・人の影響）」の単位が、京都大学理学部から認定されます。

※公立大学・私立大学の方は、29,600 円の授業料が必要となる場合があります。

※特別聴講学生を希望される場合は、郵送にてお申し込み願います。

○対象学生：原則として 1 年生以上の学部生（院生可）

○受講に必要な要件：

(1) 学生教育研究災害傷害保険（学研災）、またはこれと同等以上の保険への加入*

(2) 学研災付帯賠償保険あるいは学生賠償責任保険、またはこれと同等以上の保険への加入*

***本公開臨海実習中および移動中の万一の事故で補償が適用される保険に加入すること**

○必要提出書類：

(1) 公開臨海実習受講願（別紙様式 1）

(2) 特別聴講学生申請書（別紙様式 2）**

****「②沿岸域生態系多様性実習」を京都大学特別聴講学生として受講を希望する者のみ提出すること**

○提出先：

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 459

京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所 実習担当

（封筒の表に「**公開臨海実習受講願在中**」と朱書きすること）

○申込締切：令和 9 年 1 月 15 日（金）必着

（特別聴講学生としての申し込みは令和 8 年 11 月 13 日（金）必着）

京都大学 フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所

令和 8 年度 公開臨海実習（春期）実施案内

1. 実習の概要

①海産無脊椎動物分子系統学実習

令和 9 年 2 月 21 日（日）15 時～2 月 28 日（日）正午（実験所研究棟「共同利用実習室」集合）

（内容）海産無脊椎動物を対象とし、海岸での標本採集から、DNA の抽出、PCR、分子系統樹の作成まで、分子系統学的手法を一通り学ぶ。

②沿岸域生態系多様性実習

令和 9 年 3 月 8 日（月）15 時～3 月 13 日（土）正午（実験所研究棟「共同利用実習室」集合）

（内容）沿岸から、潮間帯、河口、河川にかけての環境で、ベントス、プランクトンなどを、実際にフィールドへ出て採集し、研究室で観察・分類を行います。また、分別した動物群の光学顕微鏡を用いた詳細な形態観察を行う。

③藻類と海浜植物の系統と進化

令和 9 年 3 月 24 日（水）14 時～3 月 28 日（日）正午（実験所研究棟「共同利用実習室」集合）

（内容）白浜の番所崎に生育する海藻類の分類・形態の観察および番所崎のタイドプール内における海藻類分布調査を行う。また、番所山およびその周辺において海草類や海浜植物の適応現象を観察し解析する。

2. 担当教員

下村 通誉 教授・中野 智之 准教授・河村 真理子 講師・後藤 龍太郎 助教・山守 瑠奈 助教

3. 費用

①約 18,500 円、②約 13,500 円、③11,000 円（宿泊費・昼夕食費を含む。交通費と朝食は各自別途負担）

4. 持参するもの

（必要なもの）筆記用具一式（野帳、スケッチ用の鉛筆、レポート用紙）、ノート PC（分子系統学実習）、汚れてよい長袖長ズボン、帽子、タオル（野外作業で使用）、カップ、防寒具

（必要に応じて持参）長靴（実験所の長靴を利用可能だが、サイズが合っていて滑りにくいものがあるれば持参）、懐中電灯（宿泊施設付近が夜は暗いため）

（洗濯機など宿泊棟で利用可能な物品は瀬戸臨海実験所ホームページの下記 URL を参照のこと）

<https://www.seto.kyoto-u.ac.jp/smb1/facilities/>

5. 実習開催地・問い合わせ先

京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所（〒649-2211 和歌山県 西牟婁郡白浜町 459）
電話 0739-42-3515（平日 8:30-12:00 13:00-17:15 まで） FAX 0739-42-4518

瀬戸臨海実験所ウェブページ（<https://www.seto.kyoto-u.ac.jp/smb1/>）

実習担当 後藤 龍太郎（E-mail: goto.ryutaro.8n@kyoto-u.ac.jp）

6. 交通案内

最寄り駅は JR 紀勢本線白浜駅、最寄り空港は南紀白浜空港（羽田ー白浜）

- ・ JR 白浜駅からは、「臨海」経由のバス（約 1 時間毎に 1 本）で、「臨海」バス停下車すぐ。
または、白浜駅から「白浜バスセンター」まで行き、そこから実験所まで徒歩で約 15 分。
- ・ 大阪、東京から、「白浜バスセンター」まで、高速バス（明光バス等）あり。

（電車・バス・飛行機とも時刻表をインターネット等で確認の上、集合時間に間に合うこと）

公開臨海実習受講願 (別紙様式1)

京都大学フィールド科学教育研究センター長 館野 隆之輔 殿

受講申請者 署名

㊞

貴実験所で開講される公開臨海実習を受講したいので、下記のとおり必要事項を記載し申し込みます。

実習期間中は、貴実験所の規定および指示に従い、万一受講申請者の不注意により事故等に遭っても、一切の責任は本人が負い、貴実験所および大学に損害賠償等の要求をいたしません。また、実習中や移動中における万一の事故等においては、受講申請者が加入している傷害保険・賠償保険の補償適用範囲内であることを確認しました。

記

1. 受講申込：

申込	実習題目	期 間
	① 海産無脊椎動物分子系統学実習	令和9年2月21日(日)～2月28日(日)
	② 沿岸域生態系多様性実習	令和9年3月8日(月)～3月13日(土)
	③ 藻類と海浜植物の系統と進化	令和9年3月24日(水)～3月28日(日)

※受講を希望する実習の欄に○を付けてください。

2. 受講申請者：

ふりがな 氏名	(男 ・ 女)			国籍	
所属	大学	学部	学科	年生	
生年月日	年	月	日		
住所・連絡先	〒 — 携帯番号 () — E-mail : ※連絡に電子メールを使いますので、正確かつ丁寧に記入してください。 混同しやすい文字の区別は特に注意して記入してください。				

3. 指導教員の確認

上記記載の通り確認いたします。

大学

学部

電話 () -

FAX () -

E-mail:

指導教員署名

㊞

(令和 年 月 日)

特別聴講学生申請書

令和 年 月 日

京都大学理学部長 殿

大学 学部長

印

下記学生を特別聴講学生として受け入れていただきたいのでよろしくお取り計らい願います。

記

学部・学科・入学年	大学	学部	年入学
ふりがな 氏 名			
生年月日・性別	(生年月日 昭和・平成 年 月 日生) (男・女)		
現住所	〒 TEL		
所属大学における 指導教員等の職・氏名			
履修希望の授業科目	科目名	単位数	開講期
	全学共通科目 森里海連環学実習Ⅳ (沿岸域生態系に与える陸・川・人の影響)	2	後期集中
履修期間	令和9年3月8日(月)～令和9年3月13日(土)		
災害保険等への加入 (該当に○をつけること)	1. 学生教育研究災害傷害保険 2. その他 ()		